

Famile

ファミリー

Takara standard

ホーロー洗面化粧台 設置説明書



もくじ

安全上のご注意	2
設置上のご注意	3
組立配管図	3
設置手順	3
調整のしかた	7
点検・仕上げ	8
お願い事項	8

- ◆この説明書は、設置上のご注意と手順を記載しています。設置前に必ずお読みの上、正しく設置していただくようお願いいたします。
- ◆設置後は、この説明書を必ずお客様にお渡しください。お渡しできない場合は、わかりやすい場所に納めておいてください。

- ◆水栓の水量調整及び器具の点検を容易にするため、必ず止水栓をご使用ください。
- ◆給排水工事は、必ず水道局指定工事店に依頼してください。
- ◆設置完了後、各部の点検を行い、異常の無いことを確かめてください。
- ◆本製品の設置が終了しましても、他の作業が残っている場合は万一の場合にそなえ、製品に布などをかぶせて保護してください。
- ◆梱包資材等の不要部材は、法令にしたがって適正な処理をお願いいたします。

安全上のご注意 必ずお守りください

- 設置作業の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置してください。
- 表示内容を見逃して誤った工事をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で説明しています。

⚠ 警告 この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

⚠ 注意 この表示の欄は「使用者が傷害を負う、または物的損害の発生が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し、説明しています。



必ず実行

このような図記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。



禁止

このような図記号は、してはいけない「禁止」の内容です。

⚠ 警告



必ず実行

- キャビネットの壁への固定は、壁の構造を確認して設置手順にしたがって正しく行う
固定方法を誤ると使用中に下台が転倒したり、位置がずれて給排水管から水漏れするおそれがあります。



必ず実行

- 水道工事は、関連する法令、法規にしたがって必ず「有資格者」が行う
接続や固定が不完全な場合は、水漏れの原因となります。

⚠ 注意



必ず実行

- 組み込まれる水栓などについては、それぞれの設置説明書及び製品本体の表示事項を守り、正しく設置する
設置を誤ると思わぬ事故や故障の原因になります。
- 引出しに収納する物は、収納物の高さに注意する
収納物が排水器具やボウルと接触し、水漏れ破損などの原因になります。
- ストラップと排水管との接続は、設置手順にしたがってスキマのないように正しく行う
接続部にスキマがあると、不快な臭いやカビの発生原因になることがあります。
- 設置後、排水栓を閉栓した状態で吐水を全開にして水がボウル面からあふれそうな場合は止水栓をしぼって流量調整する
水があふれることで拡大損害につながるおそれがあります。



必ず実行

- 排水パイプの接続は、設置手順にしたがって正しく行う
接続に不備があった場合、使用中に水漏れが発生し、キャビネットの中や床を汚すおそれがあります。
- 扉や引出表板を調整する時は手回しドライバーを使用する
ネジがはずれて扉や引出表板が落下するおそれがあります。
- 設置完了後は、扉の傾き、ガタつき、丁番のゆるみがないことを必ず確認する
扉の取付けに異常があると、使用中に扉が落下してケガをするおそれがあります。



禁止

- ストラップをU字型に曲げたり、折り曲げて取付けない
使用中に排水パイプがつまり、ボウルから水があふれて床を汚すおそれがあります。

快適にご使用いただくためにお守りください

- 直射日光や殺菌灯があたる場所、高温になる場所への設置は避ける
プラスチック部品や塗装部品が変色するおそれがあります。
- 設置する時にカウンターやボウルに載らない
ボウルが割れたりキズがつくおそれがあります。

- 工具類等をキャビネットに落としたり当てたりしない
キズがついたり欠けたりするおそれがあります。
- 浴室内等の湿気の多い場所への設置は避ける
製品が早く傷むおそれがあります。

設置上のご注意

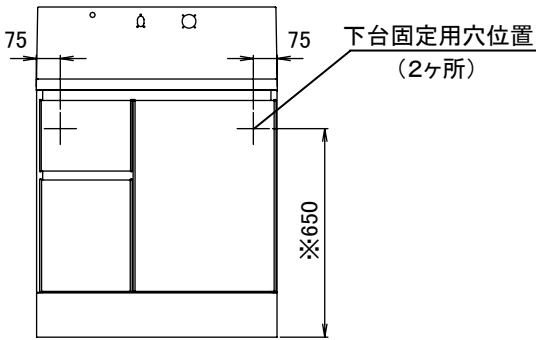
設置前のご確認

- ・取付用栈木が、壁面の指定位置に設置されていることを確認してください。(下台壁面固定位置図参照)
- ・屋内側の給排水管が所定の位置に設置されているか確認してください。(給排水位置図参照)

組立配管図

●下台壁面固定位置

注) 図はカウンター高さ80cmの場合の寸法です。
カウンター高さ75cmの場合、※部の寸法は-50mmになります。



●給排水位置

120～90cm間口		75cm間口	
正面図	上面図	正面図	上面図

- 注1) 電気温水器設置の場合、床面給湯は不要。また、壁面排水は不可。
注2) 図中の寸法はカウンター高さ80cmの場合の寸法です。カウンター高さが75cmの場合、※部の寸法は-50cmとなります。

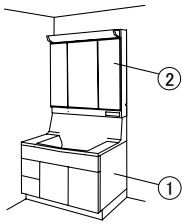
設置手順

<洗面化粧台の設置順序>

洗面化粧台の設置は下記の順序にしたがってください。

- ①洗面下台 → ②ミラーキャビネット

※ミラーキャビネットの設置は、ミラーキャビネットに
付属している設置説明書にしたがってください。



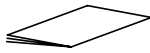
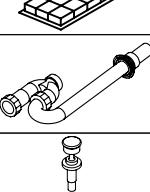
洗面下台は下記の順序にしたがって設置作業を行ってください。

- (1) 付属部品の確認
- ⇒
- (2) 保護材の取り外し
- ⇒
- (3) 水栓の取付
- ⇒
- (4) 排水部品の取付
- ⇒
- (5) 下台の設置
- ⇒
- (6) 給排水管の接続
- ⇒
- (7) ミラーキャビネットの設置
- ⇒
- (8) コーキング処理
- ⇒
- (9) 扉保護クッションの取付
- ⇒
- (10) 扉・引出の調整

(1) 付属部品の確認

● 付属部品が揃っているか確認してください。

※ 本書に記載以外の商品については、それぞれに付属している設置説明書に基づいて確認してください。

小物セット	取扱説明書・設置説明書	各1部	
	固定用スリーブ	2個	
	トラスタッピンネジ4×45	2本	
	前板補強金具(2段スライドタイプのみ)	4個	
	ナベタッピンネジ4×12(2段スライドタイプのみ)	4本	
	扉保護クッション	8個	
	クッションテープ	12個	
同梱部品	Sトラップ	1個	
	排水管アダプター	1個	
	ポップアップつまみ	1個	

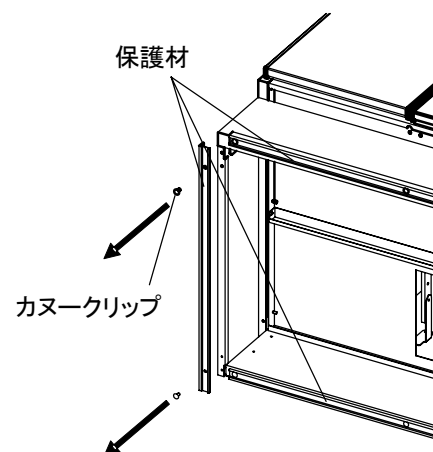
(2) 保護材の取り外し

製品の底面保護のため保護材を取付けています。設置時には不要になりますので**必ず取り外してください。**

① キャビネットを後ろに倒してください。

ご注意: キャビネットを倒す際は、床やキャビネットを傷つけないよう段ボール等で養生してください。

② 底面に取り付いている保護材を取り外してください。保護材を固定しているカヌークリップは、保護材を引きはがすように引っ張ると抜けます。



(3) 水栓の取付

水栓付属の説明書にしたがって、水栓をカウンターに取付けてください。

(4) 排水部品の取付

① Sトラップを取付けてください。[図4-1]

ご注意: 2段スライドタイプの場合、Sトラップが引出しに接触しないよう向きに注意して取付けてください。

② ポップアップつまみの台座を取付けてください。[図4-2]

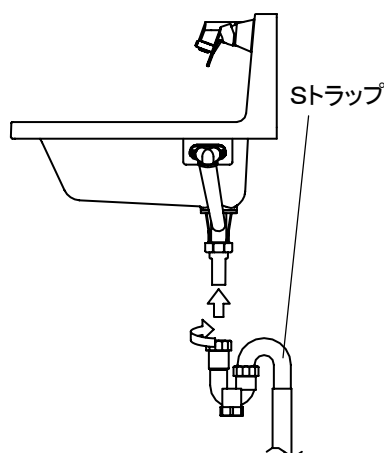


図4-1

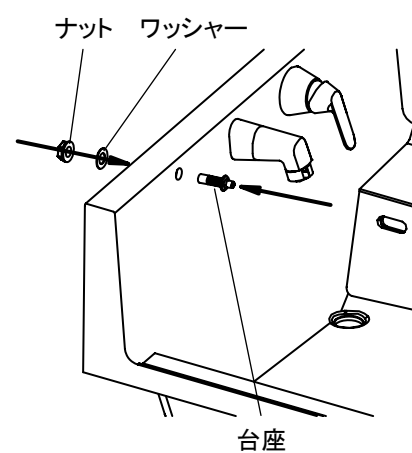


図4-2

③バック排水管のワイヤー先端をポップアップつまみの台座に差し込んだ後、ねじ込んで固定してください。[図4-3]

④ポップアップのつまみ部分をワイヤーの先端にねじ込んでください[図4-4]

ご注意: ワイヤー先端をポップアップつまみ台座に取付ける際、ねじ込みが不十分だとポップアップの動作不良につながりますので必ず奥までねじ込んでください。

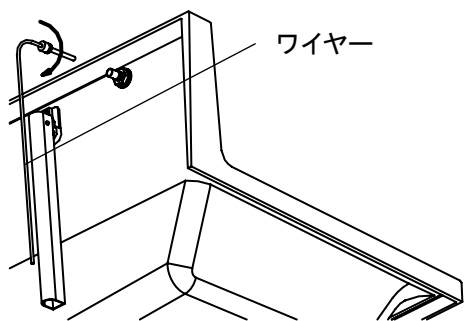


図4-3

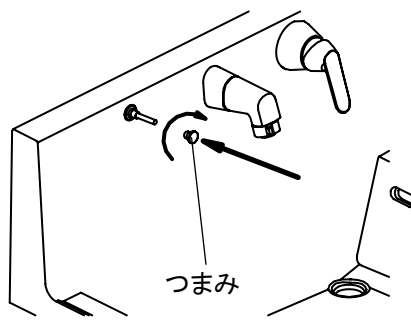


図4-4

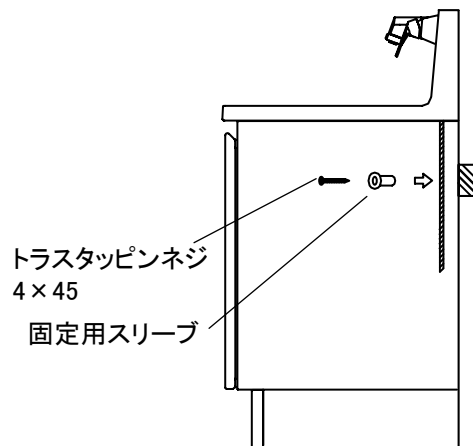


図5

(5)下台の設置

③下台を所定の位置に設置してください。

④下台内部より、固定用スリーブを介してネジで下台を壁面固定してください。[図5]

ご注意: 床が水平でない場合は、すき間に詰め物をしてガタつきのないように水平に設置してください。

(6)給排水管の接続

①下記にしたがって点検口蓋を取り外してください。

●底板点検口蓋[図6-1]

手前側の凹み3箇所部分を持ち上げ、点検口蓋をはずしてください。

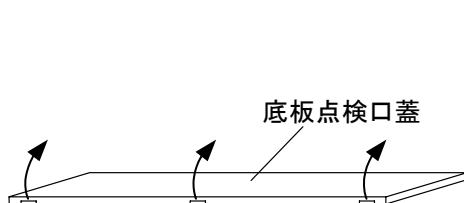


図6-1

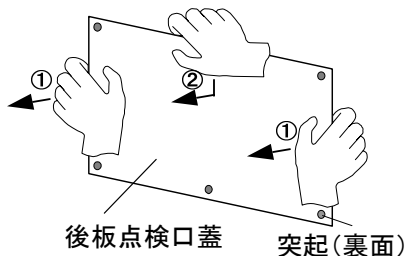


図6-2

●後板点検口蓋[図6-2]

1、両サイドの中央部分に手を掛け、手前に引いて4隅の突起をはずしてください。

2、上辺中央部分に手を掛け、下方向に力を加えながら手前に引いて点検口をはずしてください。

②現場の配管位置に合わせて、点検口蓋に穴(給水管、給湯管、排水管用)をあけてください。

③底板点検口蓋、後板点検口蓋にそれぞれクッションテープを貼り付けてください。[図6-3]

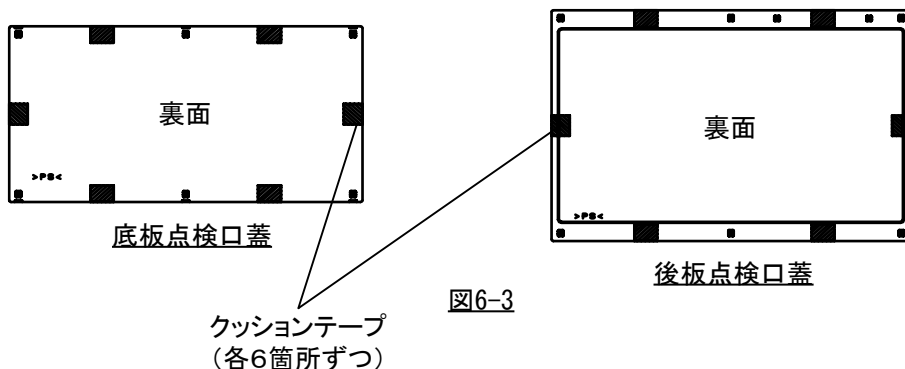
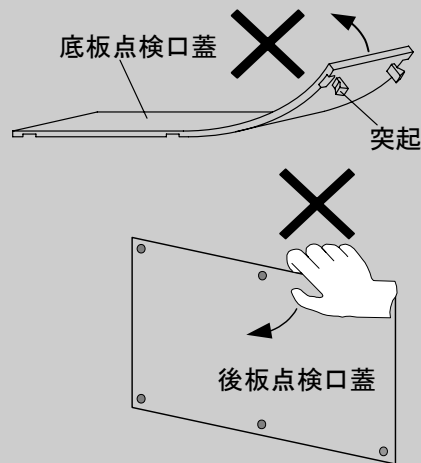


図6-3

ご注意: 下図のように指示と異なる方法で無理に外さないでください。突起が折れる可能性があります。



④給水管・給湯管を接続してください。

- 1、点検口蓋にあけた穴に給水管、給湯管を通して、止水栓を取付けてください。
- 2、水栓付属の説明書にしたがって配管工事を行ってください。

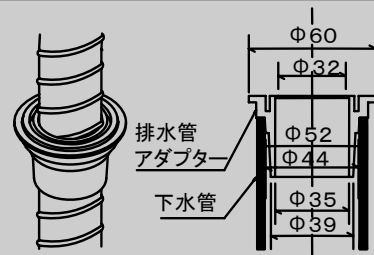
⑤排水管を接続してください。

壁排水の場合はP管(別売部品)が必要です。手配もれがないことを確認してください。

●床排水の場合

- 1、底板点検口の穴にストラップのフレキシブルホース部を通してください。
- 2、フレキシブルホースの先端に排水管アダプターを通し、排水管に差込んだ後に隙間のないように完全にシールしてください。
- 3、底板点検口蓋と後板点検口蓋を各々の箇所に取付けてください。

ご注意:・排水管アダプターは、内径40、44、51の3種類の排水管に接続できます。
すき間ができると臭気や湿気が漏れるおそれがありますので、完全にシールしてください。
・U管・P管の袋ナットは、パイプレンチ等を使用して締めすぎないでください。袋ナットが破損するおそれがあります。
・U管接続用の台形パッキンは、向きを逆にしたり、歪んだ状態で締め付けしないでください。水漏れの原因になります。

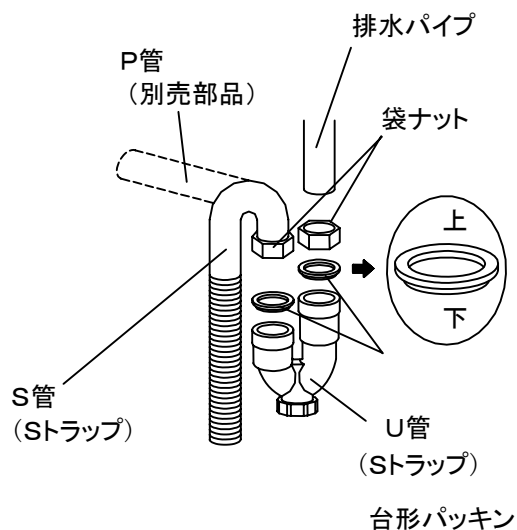


ご注意:・パッキンの取付位置を間違えたり、ねじれた状態で接続しないでください。水漏れの原因となります。

- ・金属製のナット類は、十分締め付けてください。締め付け不足の場合、水漏れの原因となります。
- ・凍結防止や結露防止が必要な場合は、配管に保湿剤を巻く等の保温処理を施してください。

●壁排水の場合

- 1、後板点検口蓋にあけた穴にP管を通してください。
- 2、建物側の排水管にP管を差し込んだ後、P管とストラップのU管を確実に接続してください。
- 3、P管と建物側の排水管を水漏れのないように注意して接続してください。
- 4、底板点検口蓋と後板点検口蓋を各々の箇所に取付けてください。



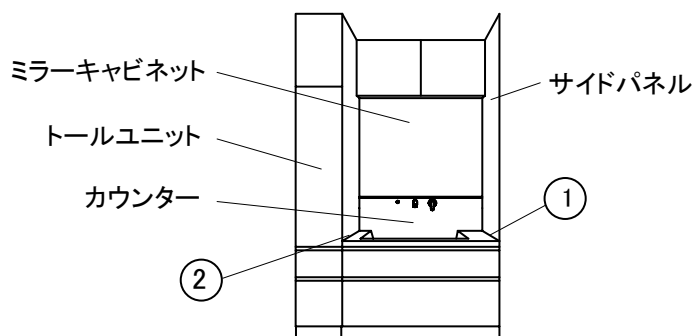
(7)ミラーキャビネットの設置

ミラーキャビネット付属の説明書にしたがって、ミラーキャビネットを設置してください。

(8)コーキング処理

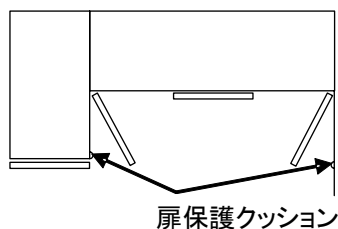
下台に続いてミラーキャビネット、吊戸棚、トールユニットなどの設置も完了したら、外観向上および防水処理のため、次の箇所をシリコン材(白)でコーキング処理を行ってください。

- ①カウンターとサイドパネル間の目地
- ②カウンターとトールユニット間の目地



(9)扉保護クッションの取付

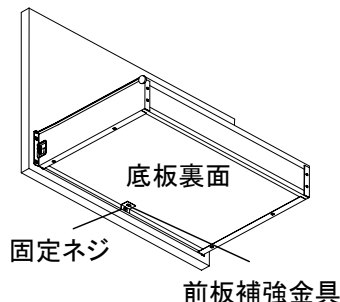
扉が隣接する壁などに当たる場合には、付属の扉保護クッションを当たる部分に貼付けてください。



扉保護クッション

(10)扉・引出の調整

- 扉に段違いや丁番のゆるみによるガタツキがないことを確認してください。不備がある場合は、次項の「調整のしかた」にしたがって調整してください。
- 引出し、小引出しについては、調整終了後、底板裏面より前板補強金具を用いて付属のネジで固定してください。



前板補強金具

調整のしかた ※調整には+ドライバーが必要です。

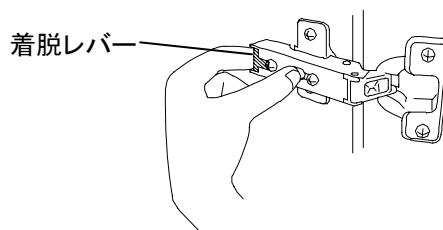
◆扉の調整のしかた

扉がガタついたり扉に段違いが発生した場合は、下記の要領にしたがって締め直し又は調整を行ってください。

扉の状態	左右に傾いている場合 左右調整	前後に傾いている場合 前後調整	上下にずれている場合 上下調整
調整のしかた	①のネジの締め込み代で調整した後、②のネジを締める。	②のネジをゆるめて扉の前後位置を調整した後、ゆるめたネジを締めなおす。	③のネジをゆるめて扉の上下位置を調整した後、ゆるめたネジを締めなおす。

●丁番のはずしかた

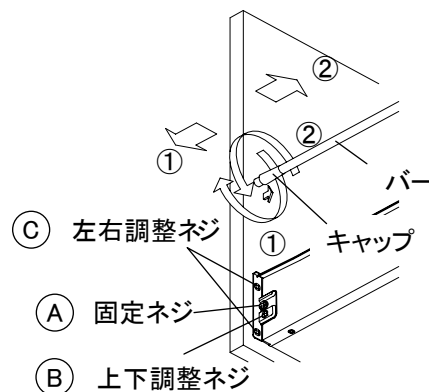
中央の穴を押さえた状態で、着脱レバーを押しあげてください。



◆引出し、小引出しの調整のしかた

(注)底板裏面より扉を固定しています。扉の上下・左右調整する場合は固定ネジをゆるめてください。調整後、ネジを締め直してください。

- 前板の前後方向(角度)の調整
左右のバーに付いているキャップを少し引き抜いた状態で左右に回して調整してください。
- 前板の上下方向の調整
Aのネジをゆるめた後、Bのネジを回して上下調整し、再度Aのネジを締め直してください。
- 前板の左右方向の調整
Cのネジをゆるめて左右調整し、再度ネジを締め直してください。



点検・仕上げ

- 安全点検
 - ・取付部材がしっかり固定されているかを確認してください。
 - ・水栓の取扱説明書にしたがって、配管内のゴミや油分を十分に洗い流してください。
 - ・2段スライドタイプの場合、引出しと配管が干渉していないことを確認してください。
 - ・配管接続部に水漏れがないことを確認してください。
- 仕上げ
 - ・設置時に製品が汚れた場合は、水を含ませて固くしぼった布で軽くふいてください。その後、乾いた布でふき取ってください。
 - ・落ちにくい汚れの場合は、薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布で汚れを落としてください。その後、水を含ませて固くしぼった布、または水をよく切ったスポンジで洗剤をふき取り、最後に乾いた布でふき取ってください。

ご注意: 溶剤、酸性・アルカリ性・塩素系の洗剤、漂白剤は使用しないでください。製品をいためるおそれがあります。



お願い事項

- 製品の養生
すべての作業が完了しましたら、カウンターおよびキャビネットを保護養生してください。
- 取扱説明書の保管・引渡し
洗面化粧台および組込機器等の取扱説明書・保証書はとりまとめて製品内部に収納し、お引渡しの際に不足のないことを確認してお客様にお渡しください。
- 梱包材その他の工事部材の処理
梱包資材等の不要部材は法令にしたがって適正な処理をお願いします。